

題材の目標

- (1) 消費者の基本的な権利と責任について理解するとともに、それらに係る技能を身に付けることができる。
- (2) 自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定して解決策を構想することで、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けることができる。
- (3) よりよい生活の実現に向けて、消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする。

標準的な展開例

【準備等】タブレット端末

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 商品の選択と購入のプロセスについて知る。</p> <p>★適切な商品の選択と購入について知ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○商品を適切に選択、購入する方法について考える。 ○商品を選択するときの情報について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・コマーシャル ・広告 ・インターネット ・口コミ ・表示、マーク ・販売員の説明 ○商品選択のポイントを押さえ、どのようなことを重視して購入するとよいか話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・安全性・機能 ・価格 ・アフターサービス ・環境への配慮 ○商品選択のシミュレーションを行う。 <p>2 消費者としてできることを考える。</p> <p>★消費者の権利と責任について考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○消費者の権利と責任について理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・8つの権利 ・5つの責任 ○生活の中で、消費者の権利と責任が当てはまる場面を考える。 <p>○消費者基本法について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意思決定のプロセスを押さえる。 ・多様な商品を提示し、商品を選ぶときのポイントを考えさせる。 【評】商品選択ポイントを話し合う活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・2次元コードを読み取り、商品購入についてシミュレーションさせる。 【評】商品選択のシミュレーション活動を通して、「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・消費者の権利と責任については、中学生の消費行動や具体的な事例と関連させて考えさせる。 ・購入した商品に欠陥があった場合はどうするかなど、具体的に考えさせる。 【評】消費者の権利と責任が当てはまる場面を考える活動を通して、「知識・技能」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・消費者は権利の主体であることに着目させ、自分の生活を振り返り、消費者としての自覚を高めさせるようにする。 ・2次元コードを読み取り、消費者の権利と責任クイズに取り組みせ、理解を深めさせる。 【評】自立した消費者としての消費活動を振り返る活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

【備 考】